

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可 昭和43年9月1日印刷 通巻89号 昭和43年9月1日発行 毎月一回

the kobekko
no. 89
september 1968

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子



9

AKOJIS

御木本真珠発明75周年

優雅な気品をそなえた

オーソドックスなおしゃれが

貴女の心をとらえる季節——

ミキモトのブローチ

ネックレスは

宝石としての価値


ユニークなデザイン

細工の確かさなどどの点をとっても

必ずご満足いただける

装身具です



 御木本真珠店

神戸店=三ノ宮-神戸国際会館

Tel. 22-0062

大阪支店=堂島-新大ビル Tel. 363-0247

京都=ミキモトパール京都(新門前通り)

Tel. 541-8171

都ホテル・京都ホテル・京都国際ホテル

大阪=阪神・高島屋・松坂屋

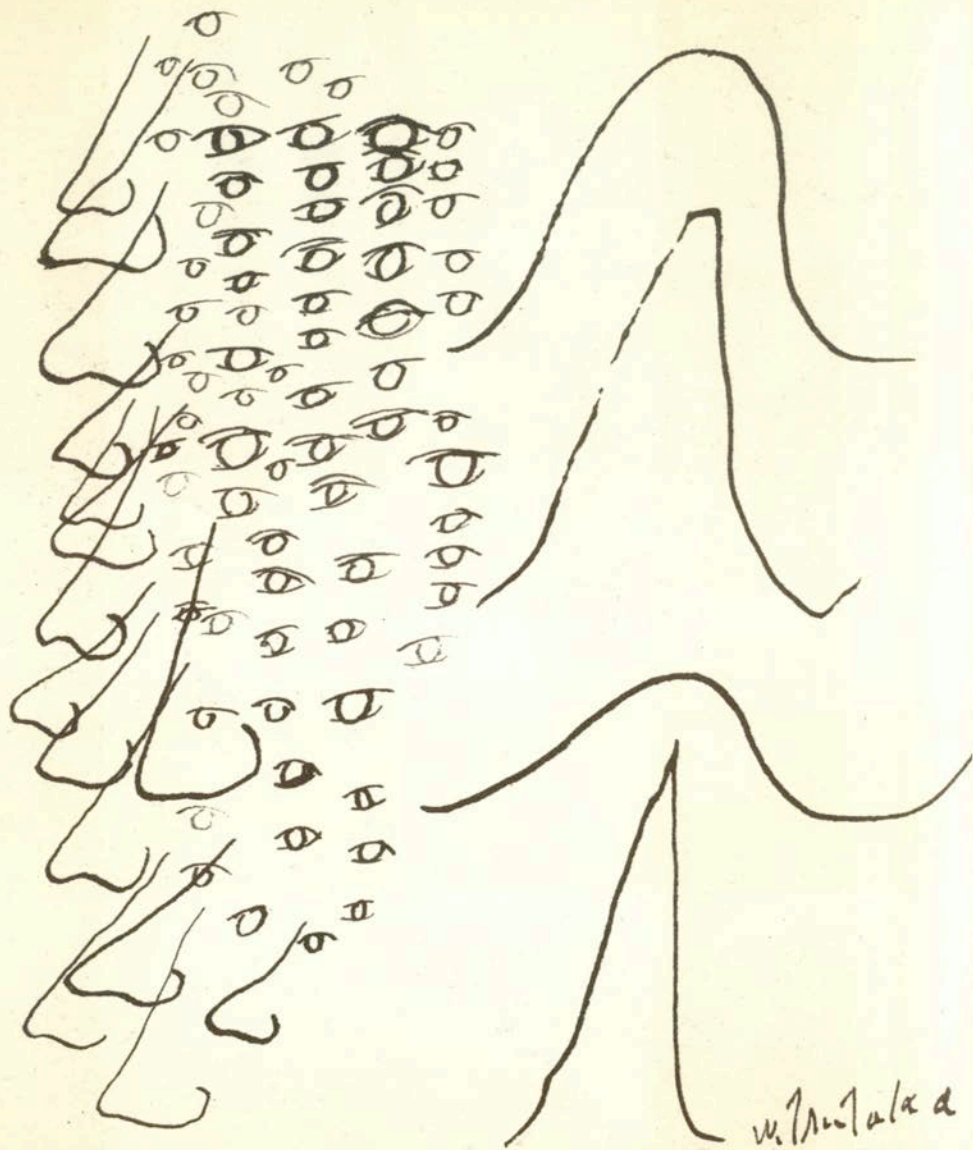
本店=東京-銀座4丁目

© 1968-9

怪談

絵 + 詩 = 津高和一

出生地不明だった 目は 口ほどにものをいっても
鼻は 百キロ先を臭きわけても
またしても交尾期の犬は 炎天を歩く
躰のよいカソリックの制服の女学生たちが造花になり
キラキラと 汚物処理場でガラス玉の義眼が氷片だった
「明日は またくるかしら」という少女の言葉は
博物館の陳列棚で すすけた凍花になっていた





美しさを創るオーダークチュール

アスターニエーション

神戸アロード TEL(三三)一八一八

大阪阪神 TEL(三六一)二〇一

神戸っ子'68

田口純子

〈第十五回・海の女王〉

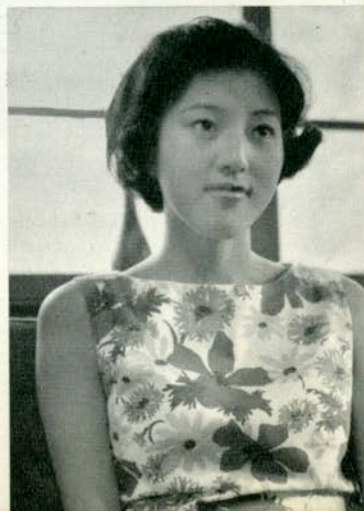
カメラ・奈良勝彦

海は心の故郷であり、港は船の母なるいこいの場である。神戸に船の入る時神戸の街はお化粧をする。

すらりと伸びた手足、大らかな顔だち、温和な眼。神戸の潮風の中で海の女王は船に挨拶をする。

田口純子さん。第十五回海の代表女王である。田口寛治神戸大学助教授の一人娘。神戸女学院大学文学部で英語学を専攻。洋裁・スキー・自動車と多趣味、絵も描けば木彫も楽しむという豊かな心の持主の神戸っ子。二十才。

神戸の住み心地は抜群ね、とは純子さんの実感。舞子在住。写真左は、舞子ホテルの松を背にして、写真下は、自宅の応接間にて



TASAKI PEARLS



田崎真珠

本 社・神戸市葺合区旗塚通 6-9
三 宮 店・神戸新聞会館秀品店内
パールファーム神戸・神戸市灘区六甲台町 24
銀 座 店・東京都中央区銀座西 6-5
パールファーム・溜池電停前(ショールーム)
ヒルトン 店・東京ヒルトンホテル内
オ ー タ ニ 店・ホテル・ニューオータニ内
札 幌 店・札幌パークホテル内

あなたの真珠はパール・マークのお店で

日本真珠小売店協会加盟店



神戸っ子'68

—— 構 恒 一 ——
〈漫才脚本家〉

カメラ・奈良勝彦

街を歩いて一瞬たちどまる。頭にひらめくのは一種の発明。詩的な飛躍がなされる。笑いの源泉は何か、笑いの歴史は何か。

構恒一氏は、市井の漫才脚本家織田正吉と言えば、うなづく人も多いだろう。NHKの土曜昼席の作者である。

昭和二十六年頃、神戸八千代劇場で見た漫才に感激、当時神戸大学法学部の学生であった。懸賞募集に入選。神戸市役所に入る。以後、漫才界の盛衰をじっと見つめてきた

ミステリーも書き、笑いの百科辞典をライフワークにしたいと情熱の一端を語るサラリーマン作家である。神戸生まれ三十六才。写真左は、県民会館モザイク画の前で、写真左は、相楽園にて



世界最高の高価な香水

JEAN PATOU



ジャン パトール社 日本総代理店

Blanc de Blanc

ブラン ドゥ ブラン

神戸市生田区北野町1丁目64

PHONE : 22-5490



写真左は、神戸デパートのビル街を抜けるハイウェイ通行料金は、大型車 200円
普通車 100円である。



テープに鉋を入れる堀建設大臣(写真左)と森阪神高速道路公団理事長。7月29日、若宮ランプ上にて。

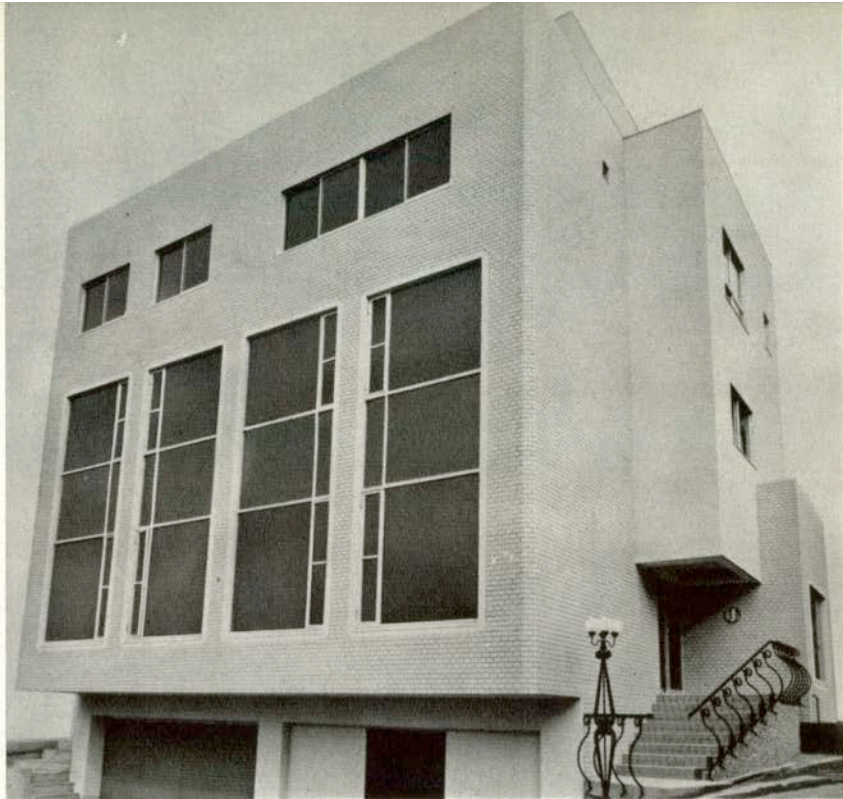
★コウベ・スナップ

港都ハイウェイ開通!



港都ハイウェイは、潮風に沿って作られた。阪神高速道路・神戸西宮線・若宮一田川間が7月30日に開通した。これは神戸市街地の通過交通を円滑化すると共に、今年中に予定されている月見山-若宮間、生田川-摩耶間が完成され西は神明道路、東は第二阪神国道へと接続。名実共に将来の日本幹線道路となる。7月29日の開通式には、堀建設大臣、金井知事、原口市長が参列し、堀建設大臣と森阪神高速道路公団理事長とによる鉋入れの後、40数台にも及ぶ車のパレードが開始。若宮から遠く生田川まで、僅か10分間の距離となった。

写真上は、パレード車上の堀建設大臣(左)と森公団理事長(右)



beauty salon

blue
akira



神戸市生田区北野町3丁目65ノ3
TEL (078) 22—9080

rose
akira

神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL (078) 33—4461

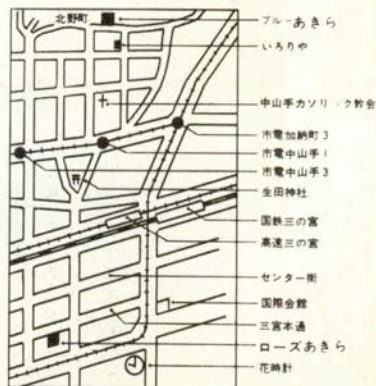
＊ごあんない

初秋の北野町に白いモダンな館、

beauty salon *blue* akira が誕生しました。

1階は西野明のヘアー・モード・サロン 2階は
フィンランド・メトス社のサウナと美容体操ルーム。
エキゾチックな北野町の散歩を楽しみながらお気軽
にお立寄りください。

また、*blue* akira の誕生を機会にお客さまの
ご便ぎをはかるためにメンバー組織の「あきらの
会」を設けました。お早くお申込みくださいませ。





ある集い
長唄会
雛菊会

蝉しくれが相楽園の庭に響く夏の日。長唄「雛菊会」のメンバーが、きもの姿で集ったハイカラな神戸の街に、いかに多い邦楽ファン。その中でも女流長唄で冴えた声とうまみのある唄で定評の岡安喜歌子さん。喜歌子師匠を慕って集まる門下生のなかで九年前に、女性ばかりが自主的な勉強会をささやかに開いた。その特長は、長唄が五曲。所要時間は約二時間のミニの演奏会で、囃子付というせいதாக。毎年真夏の八月の第一土曜日に開かれる。この雛菊会が、喜歌子師のきびしい指導とわきあいあいのチームワークのもとに続けられて、今夏八月十日には十回記念の演奏会が開かれ連続出演者は、喜歌子師から努力賞をうけた。長唄を通して日本の心をくもとうとする、若さにあふれたユニークな邦楽の会である。

岡安喜左次

岡安喜音子

木下和子

渡辺康子

岡安喜久

岡安三喜子

佐藤由香里

岡安喜代和

笹沼かつ子

岡安喜歌子

岡安喜左次

岡安喜久三恵

松崎優加子

下浦高子

岡安喜若

まろやかな やさしい真珠の輝きは 女の願い
を秘めたように 心をとらえます。

真珠の持味が心憎いばかりに 生かされている
デザイン。パリ直輸入のしゃれたプレタポルテ
の一流品のあじわい。

ムラタはそうした美しいものに憧れる私たちの
心を満たしてくれる素晴らしいお店です。

新珠三千代

秋の展示会ごあんない

モードの秋にムラタが心をこめて準備いたしました展示会。
今秋は特に世界をめくり活躍するデザイナー王曉子さんとム
ラタがつくった《タイグレス社》のオリジナルデザインを展
示いたします。《タイグレス社》は美しくなりたいという女性
の願望に答えるための新しいレディのための会社です。
あなたのドレスアップのすべてにご満足いただけるよう、品
物を豊富にととのえました。ぜひともご来会くださいませ。

TOKYO——9月25、26、27日

帝国ホテル菊・桜・桃の間

KOBE——10月11、12、13日

ムラタ本社と本社の日本庭園

村田*真珠/銀座山岡*毛皮/舶来婦人服飾

ムラタ

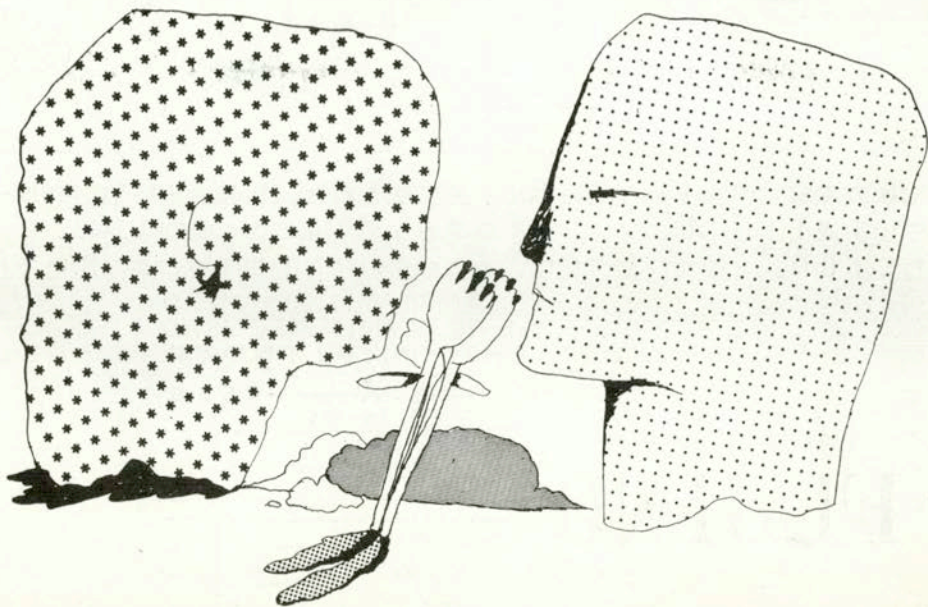
さんちか*レディスタウン・TEL 39-3886-7



●9月号目次

表紙—小磯良平

- 1 Second Cover / 津高和一
- 2 神戸っ子 68 / 撮影—奈良勝彦
- 3 ①田口純子・②橋恒一
- 7 コウベ・スナップ / 港都ハイウェイ開通 / ある集い / 「長唄舞菊会」
- 9 わたしの意見 / 坂井時忠
- 13 随想三題 / 神戸のケーキ・馳清義治
- 15 イギリスの生花・村上恵子
- 18 神戸と夜鳥・重田芳夫
- 21 ある集い・その足あと / 「長唄舞菊会」
- 23 随想 / 夜が明けなければいいのに / 内藤國雄
- 25 連載随想・Rocking Chair
- 29 オランウータンのお産 / 十河巖
- 33 神戸っ子対談 / 古林喜菜・山田恭一
- 34 連載ポケットジャーナル
- 37 ヨーロッパかたつむりおしどり漫遊記①中西勝・咲子
- 43 技術ジャーナル / 諸岡博照
- 44 神戸のアーバンデザイン / 水谷顕介+
- 47 神戸のモダンリビング / チームUR
- 48 CINEMA ② / 淀川長治
- 54 動物園飼育日記 ② / 亀井一成
- 56 横尾忠則がデザインしたメイド・イン・ニッポン
- 71 結婚特集 / Fall in Wedding / カメラ・米田定蔵
- 71 特集 / 街のおしゃべり / 神戸・三宮情報
- 83 神戸の集いから / KOBÉ・J・C 10周年記念
- 84 匂いの宝石香水を語る / 八木功・赤根和生・浅木トミ
- 86 コ・浅木幸雄
- 88 神戸遊戯誌朝キャンピング ② / 青木重雄
- 90 マダム・ド・コウベ (8) / 内藤彩子さん / 竹田洋太郎
- 96 リラックスタイナル / 花時計
- 100 ポケットジャーナル / 花時計
- 110 連載物語第十二回・非悪童物語 / 足立巻一
- 119 連載小説 / 兵庫の女 / 三十一回 / 武田繁太郎
- こゝろへ・るまん ② / 文・陳舜臣 / カメラ・緒方しげを
- カメラ / 米田定蔵 / 奈良勝彦
- レイアウト・カット / 港野千穂



これは神戸を愛する人々の手帖です。
 あなたのくらしに楽しい夢をおくる。
 神戸を訪れる人々にはやさしい道しるべ、これは神戸っ子の手帖です。

Grill & Coffee
FUJINO
 8月25日オープン

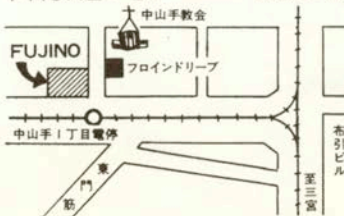


初秋の風が六甲山系から坂の中山手通に吹きぬけ、教会の十字架がブルーの空に光る季節。中山手通1丁目山側にフランス風の潇洒なグリルとコーヒーのFUJINOが8月25日にオープンいたしました。ご昼食に、夕食に、またお茶のひとつときに皆さまお揃いでお越しくださいませ。

営業時間 AM11.00～AM2.00
 日曜日 AM11.30～PM8.00
 神戸・中山手1丁目電停前

PHONE : 23 ——— 6 5 6 6

Grill & Coffee
FUJINO





坂井 時忠

<兵庫県副知事>

愛され親しまれる
県民会館に

——県民会館についてのご意見を……

この度の県民会館は、名前のとおり県民皆さんの会館ですから、気易いロビーのようなつもりで、出来るだけ多くの方々が、多くの地域の方々がここで話したり、休養したり、また種々の催しを通して教養を高めていただければと願っています。

七月一三日にオープンしたばかりですが、運営面では、まずお役所くさいものにならないようにすることです。当初は適当な方がみつかるまでということですが私が理事長も兼任しておりましたが、私なりに皆さんに愛され、親しまれ、ご満足いただけるものにしてゆきたいと考えておりました。八月一日から姫路短期大学の学長をされていた池原昇さんという県の仕事にもよく精通されているうってつけの人が理事長になられたことはまことに幸いだと思います。私も大いに期待しております。尚、県政をよく知ってもらうために、県政資料室を設けていますのでご利用下さい。

——県政百年記念事業についてお聞かせ下さい。

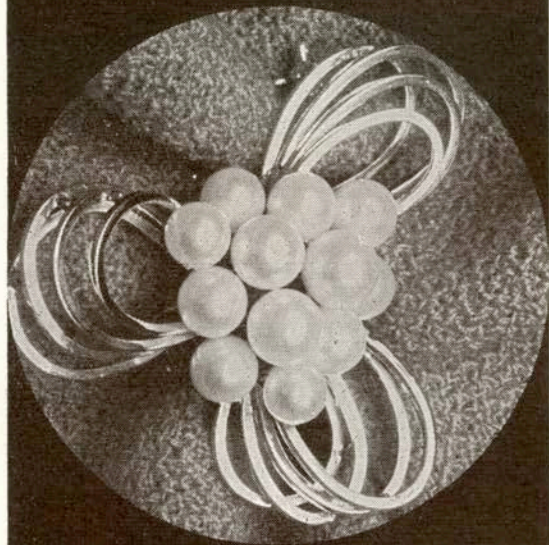
兵庫県は昨年七月二日に県政百年を迎えたわけですが、子供専門病院、リハビリテーションセンター、県立美術館、森林公園などの記念事業建設が着々と進んでおります。来年秋には、県立美術館が王子公園の南に建設され、近代絵画を中心とした内容のあるものとなりますので、お楽しみにお待ち下さい。このほか「兵庫県百年史」、「文化財図鑑」、「郷土百人の先覚者」なども編さんされて好評を博しております。

——神戸の町についてご意見をひとこと

神戸の味は気取らないアットホームな雰囲気だと思えます。近ごろ街かどに花やみどりが増えだんぜん増えてきたのは結構ですが、私の住いが市役所西の江戸町ビルなので朝街を歩くと昨夜のゴミが散逸して、目を覆いたくなくことがあります。どうせ清掃するのなら、外国のように深夜か早朝にできないものでしょうか。楽しくすがすがしい朝の散歩ができる街にしたいものです。

Kitamura Pearls

世界の人々に愛される
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL ③③ 0072

東京：スキヤ橋店 TEL<571>8032

佳き日を
より華やかに
美しく——

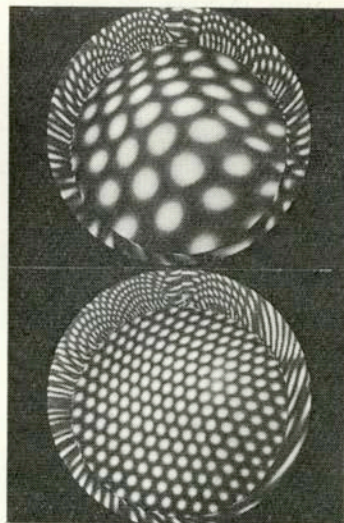


おめでとう
結婚式には
ヒロタの
ウェディングケーキが
とても
喜ばれます

洋菓子のヒロタ

元町店 三宮店 さんちか店 秀品店
33-2340 32-1227 39-3474 23-2312

随想三題



＜PHOTO—聴濤裏治作品から＞

神戸の ケーキ

聴濤裏治

具体美術協会会員

神戸で生まれ、神戸で育った私ではあるが、年を経るにつれ神戸から足が遠ざかってしまった。宝塚といっても神戸には近いのだから逃避にはならないかも知れないが、私の方から背を向けているので年に二、三度余程の用がない限り神戸には出向かない。いったい何が神戸と私を疎遠にし、何が私をして郷里神戸に失望させたか、と自問してみる。

センスということばが神戸で用いられると一般には女性の服装の

洗練度とインフォメーションのぎやかさに限られて用いられているようである。たしか戦前までの神戸は時代の先端を切る町であり各界に前衛人多数を送り出す町でもあった。その気風が今日なくなつたというのではないが、かつての神戸の文化が外人との接触到依存し、それが神戸独特の風土を形成し、神戸のセンスを支えていたことをあらためて想起してみる。外人の力が萎靡するにつれ、神戸の文化も衰退を余儀なくされ、表むきのダイナミックな動きとはうらはらに「文化不毛の町」という声まできかれるようになった。日本人の町になると途端に自からの魅力を生み出せない町、それが今日の神戸なのかもしれぬ。

話は変わるが、神戸のお菓子と服

地は世評どおり日本一だと思う。過当競争なるがゆえの研究に研究をかきねて今日の座を築いたものである。しかし、ひとたび目を芸術を中心とする文化方面に移すと相も変らぬソフトなムードが根を張り、温室育ちのエセが大道を闊歩する。新人（私もまだ新人に属するが）がひとつ何かをやつたといえればジャーナリストが騒ぎたてチャホヤする弊習がすみついた。芽を開いてやることは必ずしも大樹に育てることではない。神戸が温床であればあるほど芽は外気にふれたがらない。これは芸術人に限らず神戸の経済人の中でもささやかれているという。彼達もやはり温室で育ち、神戸の土壤で何ん自由なくはぐまれて平安な日々を送る幸せな人達である。このような土地柄になつた神戸はまさしく地方都市になり下がつたのではなからうか。

今日のサッカーブームの種を最初にまいた玉井汽船の玉井操氏、進出するところ必ず一波乱まき起こすスーパーマーケットの元祖ともいうべきダイエーの中内功氏、展覧会の度に観客達の嘲笑と蔑視を受けながらも続々と世界に通じる作家を育て、自からも偉大な作家の一人として前衛美術を最初に開拓した吉原製油の吉原治良氏などがパイオニアの精神をもって、

はるか前方の何かを見つめ、多大の困難と障害をのりこえ、じき進んだ、その姿こそ神戸でいう良いセンスとってもらいたいと思う。都市が小さければ小ボスらほせめる。わが心に住む小ボスらはせめてお菓子屋さんの不撓不屈の精神によって磨かれた風味でも味わって恥入らせてもらいたいものだ。

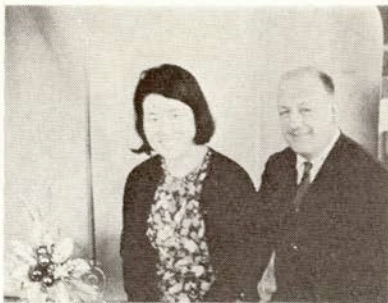
イギリスの 生花

村上恵子

華道家

イギリスの生花界は、私の想像以上に活動しており、実のところ少し驚きました。活動の中心にインターナショナル・イケバナソサエティーがあつて全国に支部を置き、師範を持ったその地の人たちが教室を開き大活躍をしています。年に数回大規模な作品展を開き、うち一回はロンドンで全国大会を持ちます。イギリスにはまだ四、五流派しか紹介されていませんが、大多数は流派にこだわらず「イケバナ」としてやっています。日本には二千以上の流派があると説明すると驚き信じない人さえいる程でした。私の教えていた学校

は「Woburn Abbey Japanese & Western Flower Arrangement School (校長 Mrs. Jackson Allan)」といい、美しい森と湖にかこまれたロンドン郊外のベッドフォード公爵邸の中にあります。ここはイギリスでも有数の美しい観光地として広く知られ、千頭近いリス、カンガルー、シカ、バイソンなどが放し飼いされ、泉のまわりで人々とたわむれています。



イギリスの有名な生花デモストレーター
ヒューマザー氏と

邸内は王朝時代のすばらしい装飾で目を見はるばかりです。

学校は週三日制で生花、洋花を教えており、各地から泊りがけで集り、朝十時から四時半までびっしり学んでゆきます。三日間生花ばかりする人や洋花をする人、両方をする人などと、自由な楽しい雰囲気です。殆んどが中流以上の主婦の方で、日本から一人であ

た私に大変気をつかってくれ、レッスンもまじめに熱心に聴いてくれました。英国の花屋さんは花だけで枝などは売っていません。だから各自近くの森まで車で枝取りにゆくのです。花は教室に何種類も豊富に用意され、好きな材料を選んで生けます。一日一人で七作品生け、その後全員でディスカッションして勉強します。一教課終了ごとに試験があり、パスしてはじめて次の課程に進めます。だから上達も早いようです。年一回生花洋花作品展を催し自作品を発表します。一方、洋花も活発で実際の作品にふれて見て、そのすばらしさに魅せられてしまいました。幸い当校の校長ジャクソン・アレソンさんはヨーロッパの第一人者として知られた方ですので、私は生花を教えるかたわら毎日特別レッスンをうけました。洋花師範になるには各地の支部で「経験」を積むことが義務とされているため、私も各地にアシスタントとして派遣され、一年半近くかかってやっと免状をいただきました。各地の支部はフラワソサエティー又はギルドと呼ばれています。私も各地のソサエティーから生花のデモンストレーションを頼まれ、二百人程の会員の前で生けました。最初は言葉で苦労しましたが、やっとジョークまじりで説明出来るよ

うになりました。「洋花ショー」ではテーマがだされ、みんなで競作して審査を受けます。そして入選者に賞状と賞金が贈られます。

生花は「空間の美」、洋花は「マッス(集団)の美」といえると思います。洋花は室内装飾としてテーブル、ホール、結婚式、クリスマスなどにおおいに活用されます。生花と洋花の「良さ」がますます理解され取り入れられることを願っています。

神戸と夜鳥

重田芳夫

日本鳥学会員

この題を予定していますといわれたが、野鳥の種類で夜間活動する鳥のことか、などとひとりごとをいってみた。

人通りの多い場所で人間と同居できる鳥は大体人家で生息したり繁殖できるものが多く、普通の種類ではスズメ、ツバメ類、イエバトぐらいしかない。市中の神社の森にはササゴイなどがいる。しかし夜の鳥の内ではフクロウ、アオバズク、オオコノハズクは、山林中に住むのが常例であるが、戦前は

生田、湊川、長田の各神社や山籠にある神社の森でも意外に数多く見聞きできたものである。森には古木が多く、樹洞もあり、餌の昆虫類や小動物も豊富で、日が暮れると直ぐ静かになったからである。彼らは春の訪れとともに恋愛をし、意気投合すると神前結婚式をあげた。そして多忙なスイートホームをつくり、産卵、育雛を繰り返していた。まだ私が中学生の頃は花隈の少し西にあった自宅でヨタカがキヨッキヨツと夜空を飛び鳴きして、蚊や小昆虫を求めている声をきくのは決して珍らしくはなかった。

しかし近年は夜の鳥にも異変が起こり、町中では住みづらくなってきたようだ。今までわが世の天下と謳歌してテリトリーを堅持してきた鳥たちも、まさか夜遅くまで森の中へ進入してくる人間や車のライトに、場所をゆずらねばならぬとは考えてもいなかったであろう。

昼間活動するササゴイも同様である。

まず餌にしていた市中の昆虫が減り、ツバメ類やヨタカは山寄りの民家近くでないと食物にもこと欠くようになり、多くは住めなくなってきた。フクロウやミミズク類も住むに適した樹木や餌の昆虫類、小動物が減り、静寂ムードを

好んだこれらの鳥たちも、大部分のものは城をあげわたさなければならなくなった。

ツバメを含めて多くの鳥たちは、夏季と冬季を住みわけける種類が多い。国鉄鷹取駅操車場の少し北部にわずか残っていた神社の木が取払われた年、春に南方より帰ってきたアオバズクは国鉄宿舍の横にある高い照明用鉄塔の上で、明りに近寄ってくる昆虫類をついばみながら、終夜もの悲しさを訴えるかのようにホホ、ホホ、と鳴きつづけていた。夏まで続けて声が聞かれなかったのは後から渡ってきた雌のアオバズクのお気にめさず住みなれた繁殖場を後にして安住地を求めてさつていったのだと思われる。

騒音にかなりならされた神戸っ子でも、時折り自然の緑や鳥の声に心の疲れをいやしたい時があるのは決して私一人ではないと思う。何とか夜の鳥だけでなく昼の鳥も住み易いように都市には緑を増やし、小鳥たちの憩いの場所を作つてやっていただきたい。

都市周辺は相次ぐ開発で山は削られ緑は消え去つてゆく。その跡へ住む人々はわずかでも小さな実のなる木を庭先に植えてやると、ここに戯れる野鳥と共にあなたの心はきつと休められることであろう。



★ある集い—その足あと 10回記念を迎えた 長唄「雛菊会」

真夏。「ああ、また暑くなると長唄雛菊会か……」と去年のうだるさなかに稽古と準備に汗した思い出がよみがえる。

そもそもこの雛菊会の発端が夏有馬の宿で初まったのだから……真夏と縁がきれない。わが岡安喜歌子師は、女流長唄界では「うまい唄」と定評のある女流邦楽家。

その、長唄にかける一念は凄まじく、貪慾である。先代岡安喜三郎亡きあと、女流長唄の第一人者松崎倭佳師に教えを受け、美しい

声を訓練するために大和楽の三島僮子師につき、発声を原信子師にと、レッスンで吸収できるものはわが手にというひたむきさが、門下生の心を打ち、熱気をおおる。初め師匠宅で、女の子ばかりが雛菊会と名づけて会を開き、お客は門下生ばかりという形だった。ところがともに門下生である囃子方の望月太津次郎さんの協力で、「夏なら囃子方も暇だし、気軽に協力できるので、会場を借りてやってみては？」という語りかけが夏の有馬の宿であったのが縁で雛菊会が本格的に誕生した。

そして九年前の八月の第一土曜日午後、中小企業センターのお座敷で、五曲の長唄に限る（それ以上はとて聞かせられない）ミニの勉強会の幕があがったのである。田原礼子、梅井曙美、岩崎奈加子小泉美喜子、飛松よしの、竹村早代の六人が会員で、後はプロの岡安喜久、喜久三恵、喜左次さんに応援してもらい、五曲を交替でタテを廻すという仕組。他は若い人々に勉強の場をといてねらいである若い囃子方の応援もあって熱気だけが売りのもののプログラムだった。

そして八年の間に九回。今夏は十回記念の雛菊会が八月十日に開かれた。その間、正会員のなか、賛助会員のなかで、結婚する人、結婚後カムバックする人、転動す

る人、お産でアウトになる人、子供をつれてくる人、学校の入試で止める人など女性の集いとしての番組づくりの苦しさがあったが、やはり、好きな邦楽の道、岡安喜歌子師のきびしく、熱心な指導のおかげで、岡安喜代、喜代和、喜音子、三喜子が名取りになり、今度は喜歌子師の一人娘、山下礼子さんが、松崎倭佳先生より、松崎倭加子の名をうけた。

会員のメンバーには邦舞家、主婦、BG、学生、高校生、小学生お嬢さん（花嫁修業中）などバラエティに富んでいる。

10回記念演奏会の演目は、「元禄花見踊」「連獅子」「松の翁」「君の庭」「船辨慶」の五曲。連続10回出演の田原礼子、岡安三喜子、喜代和、松崎倭加子の四人には喜歌子師から努力賞が渡された。

現代に邦楽を生かし、「楽しめる長唄」をめざす岡安喜歌子師の芸をうけつぐためにも今後とも若い世代にマッチした、ヴァラエティのある邦楽の会に「雛菊会」を育ててゆきたいもの。そしてハイカラな神戸にもいる邦楽ファンの層を少しでも広くしてゆきたいと願う。

★長唄「雛菊会」

神戸市生田区中山手七丁目一ノ三

岡安喜歌子内(T.E.L.03三六五三)

*グラビア9頁参照

晴れの日の

ウェディングケーキ



北欧の銘菓

ユーハイム コンフェクト

本社・工場及熊内店/神戸市灘区熊内町1(市立美術館東隣) TEL.22-1164
三宮センター店/神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・バーラー) TEL.33-2421
生田店/神戸三宮生田筋(陸上喫茶室) TEL.33-7943・0156
さんちか店/神戸三宮地下街スイーツタウン TEL.39-3558

あなたをよりいっそう
魅力的にする めがね・・・



*ドイツ イタリア フランス他
世界各国の輸入フレーム新入荷
*度付サングラスがすぐできます

★

顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

服部メガネ店

大丸前 TEL(33)1123

*世界で最も名譽
ある時計ロジン



特約店



美甲時計店

元町店・元町三丁目 TEL33-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL33-8798

KOBEセンスを生かした
信用と伝統の店



▷ゴルフコーナーには、No.1のダンロップ用品を中心にあらゆるゴルフ用品がそろっています。

▷タカハシのオリジナル・バッグコーナーは定評があります。



バッグとゴルフ用品の店

タカハシ

神戸・元町3丁目 TEL 33-1172・7782